

問1 第二次世界大戦末期の日本が、連合国から突きつけられたポツダム宣言を受諾し、終戦に至るまでの経緯を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 沖縄戦の終結や、広島・長崎への原子爆弾の投下、さらにソ連が日本への攻撃を開始したことを受け、日本は宣言の受諾を決定した。
2. カイロ宣言の内容を一部修正し、日本が占領していた地域をすべてそのまま維持することを条件として、速やかに宣言を受諾した。
3. ポツダム宣言の内容に基づき、日本の全権委任を連合国に認める代わりに、軍隊を解散せずそのまま維持することが認められた。
4. 連合国軍が東京に上陸して直接的な統治を開始した後に、昭和天皇がラジオ放送を通じて初めて宣言の受諾を国民に伝えた。

問2 1931年の満州事変から1937年の日中戦争に至るまでの期間、日本の外交関係の説明として最も適切なものはどれですか。

（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 国際社会からの批判により国際的孤立を深め、ドイツなどとの連携を模索した。
2. 国際連盟の常任理事国として、欧州の紛争解決に向けた主導権を發揮した。
3. 日米英の協調体制を維持し、東アジアにおける平和維持活動を推進した。
4. ソ連との間に相互援助条約を結び、共産主義勢力の拡大を共同で阻止した。

問3 太平洋戦争中、戦地へ向かった成人男性に代わる労働力として、中学生以上の生徒や学生、および未婚女性などが軍需工場での作業に強制的に従事させられた制度を何といいますか。（2023年 鳥取公立入試 類似）

1. 勤労動員
2. 学徒出陣
3. 徴兵制
4. 国民徴用令

問4 1930年代の日本において、五・一五事件や二・二六事件といった武力事件が相次いだ結果生じた、政治体制の変化として最も適切な説明を選んでください。（2020年 歴史公立入試 類似）

1. 政党の党首が内閣を組織する慣習が途絶え、軍部の要求によって軍事費が急増するなど、軍事中心の政治へと移行した。
2. 大正時代から続く政党政治の仕組みがより強化され、議会在軍部の行動を厳しく制限するようになった。
3. 国民の選挙によって選ばれた代表者が首相となる制度が確立し、平和的な外交政策が継続された。
4. 天皇を中心とした親政体制が確立されたことで、軍部と政党が対等に協力し合う挙国一致の民主主義が発展した。

問5 19世紀末から20世紀初頭にかけての日米関係において、ポーツマス条約の締結を境に日本の対米感情が悪化した理由として、背景や因果関係を正しく説明しているものはどれですか。（2023年 滋賀公立入試 類似）

1. アメリカの仲介で結ばれた条約において賠償金が得られなかったため、日本国民の不満が仲介役のアメリカにも向けられたから。
2. 岩倉具視が条約改正に失敗したことで、アメリカが日本に対して一方的に関税をさらに引き上げる制裁を行ったから。
3. 世界恐慌の影響でアメリカが日本製品の輸入を完全に禁止し、日本の産業が壊滅的な打撃を受けたから。
4. ワシントン会議においてアメリカが日英同盟の継続を強く主張し、日本の外交的孤立を狙ったから。

問6 第一次世界大戦後の国際秩序形成において、日本が参加した国際会議や締結した条約の推移について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、日本は1933年に国際連盟を脱退しています。（2022年 岐阜公立入試 類似）

1. ワシントン会議に参加し、太平洋地域の現状維持を定めた四力国条約を締結したが、第二次世界大戦末期のヤルタ会談には参加していない。
2. ワシントン会議には参加せず、独自の外交路線を歩んだため、のちに国際連盟から脱退する原因となった。
3. 国際連盟脱退後、すぐにヤルタ会談に参加して連合国側との協力体制を築き、国際社会への復帰を試みた。
4. 四力国条約には調印したが、ワシントン会議において海軍の軍備制限を拒否したため、国際連盟からの脱退を余儀なくされた。

問7 世界恐慌の発生後、日本の生糸輸出額が大幅に減少した背景と、それが日本国内に与えた影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2021年 福岡県公立入試 類似）

1. 最大の輸出先であったアメリカの不況により、生糸の需要と価格が暴落し、繭を生産していた養蚕農家が深刻な打撃を受けた。
2. 生糸に代わる化学繊維が国内で普及したことが主な原因であり、世界恐慌による輸出への直接的な影響は限定的であった。
3. 政府が国内の絹産業を保護するために輸出制限を行ったため、農村では絹織物の生産が拡大し、一時的な好景気となった。
4. アメリカへの輸出は減少したものの、代わりにアジア諸国への輸出が急増したため、生糸の輸出総額は高い水準を維持した。

問8 1940年に日本がドイツおよびイタリアとの間で調印した軍事同盟を何といいますか。この同盟の成立により、日本は「枢軸国」としての立場を明確にし、欧米諸国との対立を深めることになりました。（2021年 香川公立入試 類似）

1. 日独伊三国同盟
2. 三国干渉
3. 日独伊防共協定
4. 日英同盟

答え合わせ・解説

問1	答え 1 沖繩戦の終結や、広島・長崎への原子爆弾の投下、さらにソ連が日本への攻撃を開始したことを受け、日本は宣言の受諾を決定した。	日本は1945年6月に沖繩戦が終結し、8月には広島と長崎に原子爆弾が投下され、さらにソ連が日ソ中立条約を破って参戦するという絶望的な状況に追い込まれました。これにより政府はポツダム宣言の受諾を決定し、8月15日に昭和天皇がラジオ放送（玉音放送）を通じて国民に終戦を知らせました。
問2	答え 1 国際社会からの批判により国際的孤立を深め、ドイツなどとの連携を模索した。	満州事変以降、日本の中国大陸への進出は国際連盟などの国際社会から厳しく批判されました。1933年の国際連盟脱退によって日本は第一次世界大戦後の国際秩序（ヴェルサイユ・ワシントン体制）から離脱し、孤立を深めました。この孤立を解消するため、日本は軍事拡大や現状打破を掲げるドイツに接近し、後の日独伊三国同盟へとつながる外交路線を歩み始めました。
問3	答え 1 勤労働員	戦局の悪化に伴い、多くの成人男性が兵士として召集されたため、国内の軍需工場や農村では深刻な労働力不足に陥りました。この不足を補うために、本来は学習の場にあるべき学生たちが学校単位で工場などへ送られ、軍用機の製作などの労働を担うことになりました。当時の記録では、軍事施設を狙った空襲によって、作業中だった多くの学生が犠牲になった悲劇も伝えられています。
問4	答え 1 政党の党首が内閣を組織する慣習が途絶え、軍部の要求によって軍事費が急増するなど、軍事中心の政治へと移行した。	1932年の五・一五事件で犬養毅首相が暗殺されたことにより、約8年間続いた政党内閣の時代（憲政の常道）が終焉を迎えました。その後、青年将校らによる二・二六事件を経て軍部の政治的発言力は決定的なものとなり、当時の予算統計においても1930年代後半から軍事費の割合が急上昇するなど、戦時体制への移行が急速に進められました。
問5	答え 1 アメリカの仲介で結ばれた条約において賠償金が得られなかったため、日本国民の不满が仲介役のアメリカにも向けられたから。	日露戦争が長期化し、日本もロシアも戦争の継続が困難になる中、アメリカの大統領セオドア・ルーズベルトの仲介によってポーツマス条約が締結されました。しかし、この条約では領土の割譲などは認められたものの、日本が期待していた賠償金の獲得はなりません。戦争による重税や多くの犠牲に苦しんでいた日本国民の間で激しい不満が爆発し、日比谷焼打ち事件などの暴動が発生するとともに、仲介したアメリカに対する不信感も高まりました。
問6	答え 1 ワシントン会議に参加し、太平洋地域の現状維持を定めた四力国条約を締結したが、第二次世界大戦末期のヤルタ会談には参加していない。	日本は1921年からのワシントン会議に参加し、四力国条約を締結するなど、当初は国際協調の姿勢を示していました。しかし、満州事変以降に国際社会での孤立を深め、1933年に国際連盟を脱退しました。ヤルタ会談は第二次世界大戦の終結に向けてアメリカ・イギリス・ソ連の首脳が行った会議であり、日本は参加していません。
問7	答え 1 最大の輸出先であったアメリカの不況により、生糸の需要と価格が暴落し、繭を生産していた養蚕農家が深刻な打撃を受けた。	当時の日本において、生糸は外貨を獲得するための最重要品目であり、その輸出先の約9割をアメリカが占めていました。世界恐慌によってアメリカ市場が冷え込むと、生糸の価格は暴落し、原料となる繭を生産して現金収入を得ていた農村の養蚕農家は、借金や欠食児童、身売りなどの社会問題が発生するほどの窮乏状態に陥りました。
問8	答え 1 日独伊三国同盟	1940年に締結されたこの同盟は、日本、ドイツ、イタリアの三か国による相互援助を定めた軍事同盟です。当時、すでにヨーロッパで戦争を進めていたドイツ・イタリアと提携することで、日本はアメリカやイギリスなどの欧米諸国との対立を決定的なものにし、第二次世界大戦への道を進むことになりました。